

入試情報

【選抜区分と評価方法の概要】

一般入試 推薦入試

所属学科(コース)の成績順位が1/3以上またはGPA2.4以上が対象
TOEICの成績、学部の成績証明書、面接、指導教員の推薦書による判定
注)要件を満たしていれば、本学以外から出願することもできます。

一般入試 学力試験入試

専門に関する口頭試問、TOEICの成績を利用した英語試験、学部の成績証明書、面接による総合的評価

※一般入試の推薦入試は、学力試験入試との併願になります。また、このほかの選抜区分として、「外国人留学生特別入試」、「高等専門学校専攻科生特別入試」、「ユニバーサルコース入試」などのほか、秋季入学に対応した入試制度もあります。詳細については、大学のWebサイトをご覧ください。(https://www.kitami-it.ac.jp/info/nyushi-daigakuin/)

なぜ北見工業大学大学院なのか?

POINT 1 大学院の魅力

本学の新しい課程では副指導体制を強化し、複数の異分野教員が学びをしっかりサポートします。本学は、環境、防災、第1次産業、冬季スポーツに関連する研究を推し進める研究推進センターがあります。これらのセンターと連携を密にし、特徴ある研究に取り組むことができます。地域とも密着し、成果を地域に還元します。また経営統合予定の小樽商科大学、帯広畜産大学との連携も深め、これらの大学の強みを活かした新しいテーマも発掘可能です。

POINT 2 充実した研究生生活

卒業研究に続き、修士論文研究ではより高度な課題に挑戦できます。自由な雰囲気の中で仲間と研究を満喫し、最先端の技術・研究に触れ、国際会議に参加するなど世界が広がります。

POINT 3 開かれた未来

本学修士課程の就職率は、令和元年度100%!
「製造業」「建設業」「情報通信業」など学んだスキルを活かせる分野、職種で活躍しています。研究職への就職は大学院卒ならではの。さらに博士後期課程に進んで研究の道を究めることもできます。

令和元年度 北見工業大学大学院就職DATA

■大学院博士前期課程就職率

100%

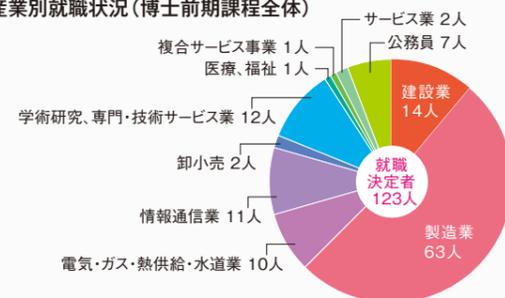
■過去3年間の平均就職率

平成29年度 **98.9%**
平成30年度 **100%**
令和元年度 **100%**

■都道府県別就職状況(博士前期課程全体)



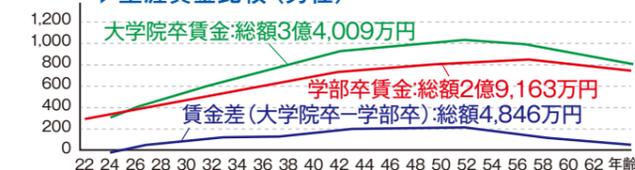
■産業別就職状況(博士前期課程全体)



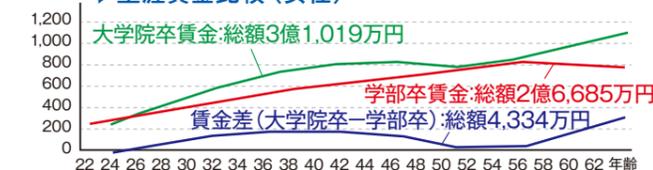
POINT 4 豊かな未来

内閣府経済社会総合研究所の論文によると、大学院卒と学部卒の年収を比べると、初任給は差がありませんが、その後差が開き、男性の場合最大で215万円、女性の場合は312万円といずれも大きく差がつきます。

▶生涯賃金比較(男性)



▶生涯賃金比較(女性)



※図表はいずれも「大学院卒の賃金プレミアム-マイクロデータによる年齢-賃金プロファイルの分析」、柿澤寿信ほか、内閣府経済社会総合研究所論文(2014年6月)による。

行こう。

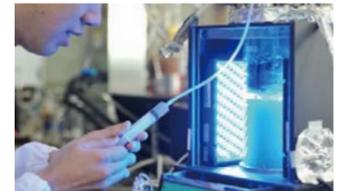
2021年大学院が変わります。

多面的・複合的な能力を有し地域社会、国際社会で活躍する専門技術者へ



大学院工学研究科 博士前期課程改組

概要



さらなる先へ。

分野を超える。

北見工業大学は、2021年4月に大学院工学研究科博士前期課程(修士課程)を、これまでの6専攻から **1専攻・4専修プログラムに改組** し、新たなスタートを切ります。

本学は、2017年度に学部改組を行い、課題解決型の2学科・8コースを構築し、特定の学問分野にとらわれない幅広い視野と柔軟な思考力の育成を強化してきました。

この実績を踏まえて、大学院教育の新たな改革として、多面的・複合的な知識・能力を有し、地域社会や国際社会の発展に貢献できる専門技術者を養成します。

学部



工学研究科
博士前期課程

工学専攻 4専修プログラム制

幅広い視野と柔軟な思考力

学部教育で培われた「特定の学問分野にとらわれない幅広い視野と柔軟な思考力」を基盤に、さらに高度な専門能力を修得した工学系人材の育成が可能となる。

社会が求める 数理・データサイエンス・ マネジメント教育

これからの時代、どの専門分野においても共通して必要となる知識・技術(例えば数理・データサイエンス、マネジメント)に関する教育を柔軟かつ迅速に導入できる。

変更の
ポイント

実践的な課題解決型の研究

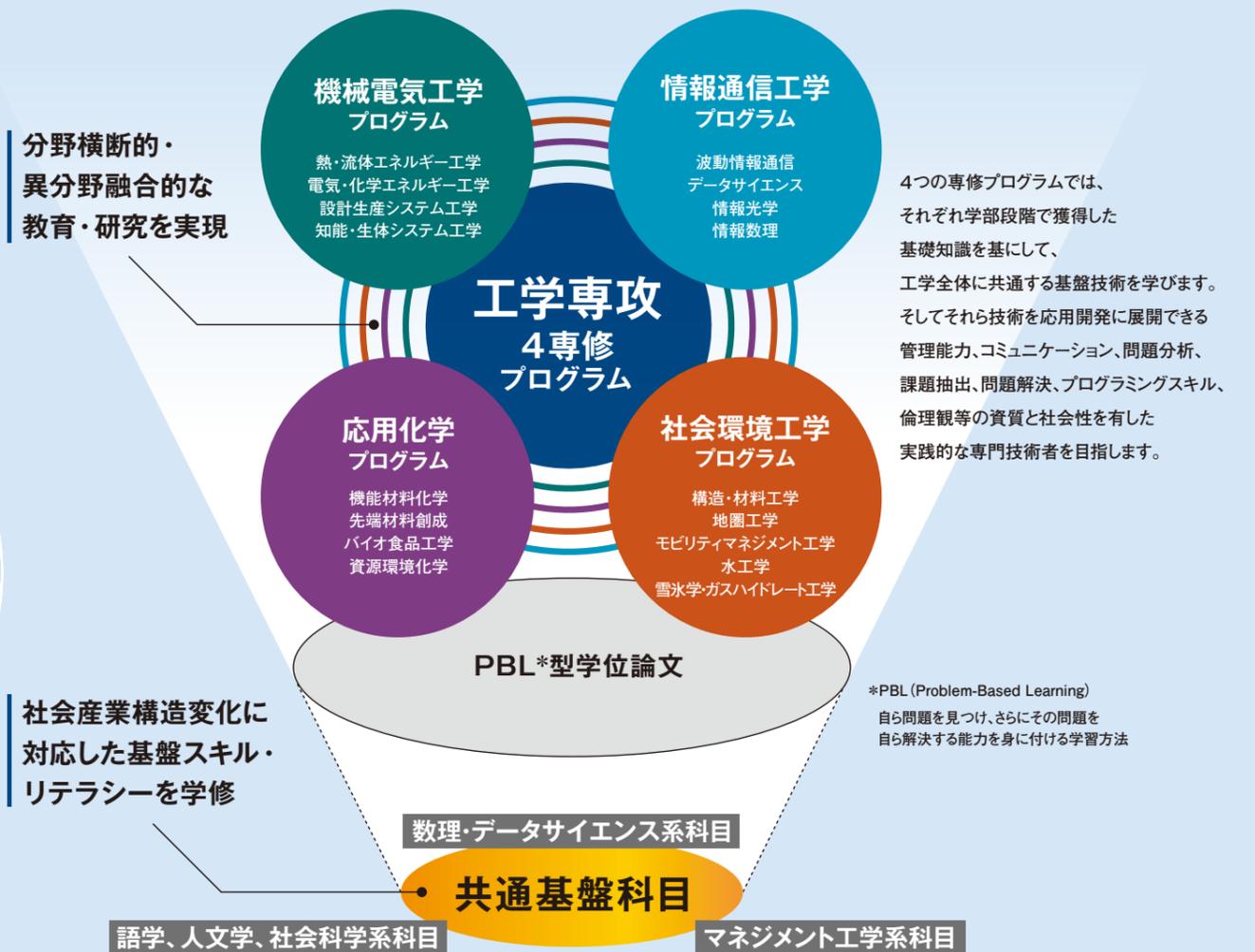
分野横断的な指導体制を生かし、「企業等との共同研究」、「異分野連携プロジェクト」、「地域課題解決に関連する研究」といった実践的な課題解決型の研究を展開できる。

異分野融合的な研究テーマ

大学院博士前期課程の修士論文研究において、例えば、機械工学を主の専門領域、情報工学を分野横断的専門領域として、それぞれの専門分野の教員の指導を受けながら異分野融合的な研究テーマを遂行することが可能となる。

多様な分野を融合した幅広い視野と柔軟な思考力

学部教育で培われた力を基盤に、さらに高度な専門能力を修得し社会で活躍する工学系人材の育成を目的とする教育体制



学部4年次からの大学院科目先行履修で、より高い学修効果を

Faculty of Engineering	Master's Program	Doctoral Program
工学部	大学院 博士前期課程	大学院 博士後期課程
4年次 (B4)	1年次 (M1) → 2年次 (M2)	1年次 (D1)
セメスター制 (2学期制)	クォーター制 (4学期制) による柔軟な科目履修	
	PBL型修士論文研究	
先行履修	専修プログラム専門科目 副指導教員科目の単位化によるPBL型修士論文指導支援	※改組に向けて検討中
	共通基盤科目	